

2013年12月17日、パリ

コファス季刊「セクター・パノラマ」

北米とアジアでポジティブな変化

繊維セクターの技術革新への投資によってヨーロッパのリスクが沈静化

北米の小売セクターと自動車セクター、アジア新興国のサービスセクターの信用リスクレベルを「普通 (moderate)」に引き下げ

アジアと北米地域での、力強い民間需要によってセクターリスクが改善に向かい続けている。コファスのエコノミストが作成し、アンダーライター(保険引受担当者)の企業の支払動向に関する経験によって洗練された、統合的なリスク指標¹によれば、この二つの地域の信用リスクの改善が注目される。

- 北米では、好調な家計消費動向により、自動車セクターと小売セクターのリスクが「中 (merium)」から「普通 (moderate)」に引き下げられた。

自動車セクターでは、買い換え需要に支えられて新車販売台数が金融危機以前の水準まで回復した。同時に、自動車メーカーのキャッシュフローも前年比 19%増となった。

カナダとアメリカの小売セクターでは、インターネット販売と店舗販売の売上が前年比3.9%の伸びを記録した。売上は2013年10月末時点で5%アップし、景気回復を反映している。

- アジア新興国のサービスセクターの信用リスクは「普通」に格付けされた。IT、エンジニアリング等の法人向けサービスが好調で、売上と収益性が大幅に成長した。アジア地域全体で、中国人の中間層の出現により観光セクターが勢いよく伸びている。今後、中国の家計収入の増大につれ、ますますこの動向は強まるだろう。

西欧諸国ではユーロゾーンが経済危機を脱し、リスクは概ね沈静化しつつある。しかし、南欧の国内需要低迷が欧州のセクターリスクに影響しており、リスクが「普通」と評価されるセクターは今のところない。

¹ Coface の信用リスク指標は、新興アジア、北米および欧州連合の 15 ヶ国 6,000 社以上の上場会社によって公表された財務データの変動(コファスのアナリスト達が観察した年商、利益率、純負債比率、キャッシュフローおよび債権の変動)に基づいている。それは**普通(moderate)**、**中(medium)**、**高(high)**および**超高(very high)**の4つのリスク・カテゴリーに分類されている。

欧州繊維セクター：技術革新が成長の鍵

グローバル化の波と相次ぐ金融危機による需要圧迫という環境の激変によって落ち込んでいた衣料・繊維セクターは、3つの地域で信用リスクが「中」と評価された。ヨーロッパの繊維セクターは比較的堅調であるが、衣料セクターは消費の低迷により売上が圧迫されている。フランスでは、繊維セクターで新たな動きが見られる。フランス企業全体の倒産件数は引き続き史上最高に近い水準にあるが、繊維セクターの倒産件数は2009年以降ほぼ半減した。2013年10月末時点では、コファスが認識した年間倒産件数62,431件のうち繊維業はわずか83件であった。

ヨーロッパの繊維セクターは、新興国からの低コスト製品流入にもかかわらず、競争力を保っている。しかし、真の成長の鍵は技術革新にある。企業は必死に生き残りを図った結果、主にニッチ市場向けの工業用繊維に投資するようになってきている。北欧諸国が先駆けとなって繊維セクターを再編し、飛躍的な技術革新を達成した。例えばスウェーデンは、もともとヨーロッパ諸国の中で研究開発費がトップであり、研究開発費の対GDP比は3.4%にも達する（フランスでは2.25%、スペインとイタリアでは1.5%程度）。また、スウェーデンでは、セクターのニーズに合わせてエンジニアが教育されている。

技術革新による原動力は着実に成果を出している。しかし、繊維セクターは原料コストの変動、技術革新への投資、高所得層市場に進出しつつある新興国との競争といった問題に直面しており、持続的な安定を期待することはできるのだろうか？技術革新は常に流動的なものである。ヨーロッパの繊維セクターの業績好転を維持するには、業界の復活につながる戦略を立てる必要がある。工業用繊維はスポーツ、家具、衣料、農業、環境など広く応用が可能であり、さまざまな市場への対応能力が強みの一つである。繊維セクターで研究開発が進むことで、他のセクターの顧客高級化と、専門分野特化へのポジティブな動きを支えている。特にヨーロッパ全体とフランスでその動きが見られる。

連絡先:

ジョナタン・ペレズ - Tel. 03 5402 6108 – jonathan.perez@coface.com

コファスとは

コファス・グループは国内及び輸取引における債務不履行をカバーしながら、全世界の企業に売掛債権管理のソリューションを提供しています。2012年、同グループは16億ユーロの連結売上高を計上しました。66カ国にて4,600名のスタッフが世界各国で現地サービスを提供しています。コファスは四半期毎に、企業の決済動向に関する独自の知見と350名のアンダーライターたちの専門知識に基づいた、158カ国についてのカントリー・リスク評価を発表しています。

フランスでは、コファスは国に代わって輸出保証を行なっています。

コファスはBPCEグループ(Banque Populaire Caisse d'Epargneグループ)の投資銀行及び企業向け金融サービスに特化した銀行であるNatixisの子会社です。

www.coface.jp